

みやざき 県議会の動き

No.98
8
2024

令和6年8月1日発行
宮崎県議会広報紙／年6回偶数月発行



6月定例会

県議会ではクールビズに取り組んでいます。

可決又は承認された主な提出議案

- 令和6年度宮崎県一般会計補正予算(第1号)
- 令和6年度宮崎県えびの高原スポーツレクリエーション施設特別会計補正予算(第1号)
- 県税の課税免除等の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 教育関係使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 宮崎県再造林推進条例
- 令和6年度宮崎県一般会計補正予算(第2号)
など15件

可決された意見書

- 防災・減災、国土強靱化の更なる推進を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書

6月定例会は、6月7日から6月25日までの19日間にわたって開催され、17名の議員が一般質問を行い、県政の幅広い分野にわたり活発な議論が行われたほか、常任委員会及び特別委員会が開かれ、付託された議案の審査や所管事項の調査などが行われました。

この結果、知事提出議案については、「令和6年度宮崎県一般会計補正予算(第1号)」や、硫黄山河川白濁対策等に必要な経費として提出された「令和6年度宮崎県一般会計補正予算(第2号)」など15件を原案のとおり可決又は承認しました。

また、議員発議案については、「防災・減災、国土強靱化の更なる推進を求める意見書」など2件を原案のとおり可決しました。

6月定例会の結果概要

一般質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。
県議会ホームページまたはYouTube「宮崎県議会公式ちゃんねる」から、一般質問の様態をご覧ください。



▲議会中継



▲YouTube



さかくち ひろみ
坂口 博美
議員
宮崎県議会自由民主党
児湯郡選出

流域治水について

問 松尾ダム及び渡川ダムに放流管を増設することについての県の考えを伺いたい。

答 知事 治水上の効果は大きいものの、予算確保が大きな課題である。増設後の機能維持のため、堆砂対策も重要である。今後、流域治水対策の財源となる国土強靱化の予算を別枠で継続的・安定的に確保するよう国に求めていくとともに、県民の生命と財産を守るため、流域治水対策に全力で取り組んでまいりたい。



まつもと てつや
松本 哲也
議員
県民連合立憲
延岡市選出

東京一極集中の是正について

問 九州地方知事会長など要職にある知事として、どのように取り組んでいくのか。

答 知事 企業や大学等の地方移転が進んでおらず、国の責任において、是正を強力に進めて行く必要がある。本県開催の将来世代応援知事同盟サミットでは「地方分散型社会の実現」等を、九州地方知事会では「地方創生の更なる加速」等を求めており、引き続き、本県知事そして地方を代表する立場から、国に要望していく。



かわさひろし 博 議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

外所地震や能登半島地震等の教訓と南海トラフ地震対策

問 外所地震や能登半島地震を教訓として、南海トラフ地震対策にどう生かしていくのか。

答 知事 津波避難施設や受援体制の整備などハード、ソフト両面において災害の備えを進めてきたところだが、今後明らかになる能登半島地震の応急対応についての国の検証結果や防災基本計画等の改定も踏まえ、常在危機の意識のもと、県民の命を守ることを最優先に、今後の防災・減災対策に生かしていく。



わかたにりこ 議員
親和会
宮崎市選出

学校給食費の無償化について

問 バランスの取れた献立を安定的に提供することができ、子育て支援にもなることから、全国一律で実施すべきと考えるが、いかがか。

答 知事 現在、国は、無償化に向け、各自治体の取組の効果検証や経費負担のあり方について調査研究を進めている。地域間の差が生じないよう、国の責任と財源による制度設計が必要と考えており、全国知事会等あらゆる機会を通して、国に要望してまいりたい。



くろいわやすお 保雄 議員
緑風会
日南市選出

特色ある大学誘致について

問 働く人の確保や人口減少対策として、本県が有する人材育成の環境を生かし、農林水産及び観光の分野などの大学を誘致しないか。

答 総合政策部長 人材確保において大学の担う役割は大きい。現在は、県内大学等と連携し学生の県内就職率の向上に努めている。今後も産業界が求めるニーズを県内大学等に繋ぎながら、特色ある大学の誘致についても、様々な機会を通じて情報収集に努める。



ふくだしんいち 新一 議員
宮崎県議会自由民主党
北諸県郡選出

国道222号牛ノ峠道路の事業再開について

問 安全で円滑な交通を確保し、信頼性の高い道路とするため、牛ノ峠道路の事業再開が必要であると考えますが、再開について伺いたい。

答 県土整備部長 昨年10月に1,200人規模の決起大会が開催されるなど、機運の高まりを感じている。地域の将来を見据えた整備のあり方を検討する場を設け、早急に議論をスタートさせ、事業再開に至る様々な課題解決へ丁寧な議論を重ねていく。



まえとみ やしき えみ 前屋敷恵美 議員
日本共産党宮崎県議会議員団
宮崎市選出

宮崎空港の「特定利用空港」指定問題について

問 宮崎空港「指定」は、有事をにらみ自衛隊と米軍の軍事利用を可能にするもの。集団的自衛権の行使で米軍の戦争に自衛隊が宮崎空港から出撃する事にも、宮崎の戦場化や日本を戦争する国にさせない為に「指定」撤回を。

答 知事 外交・防衛は国の専管事項であり、国の責任でなされるもの。訓練実施の際は事前の丁寧な情報提供や安全対策の徹底、地域住民への配慮等適切な対応を求めていく。



やすだこうへい 厚生 議員
宮崎県議会自由民主党
東臼杵郡選出

介護行政について

問 外国人介護人材の現状と外国人材確保に係る県の取組について伺いたい。

答 福祉保健部長 本県の外国人介護人材数は、令和5年6月時点で285名、うち特定技能の外国人材は168名を占めている。今年度は、特定技能外国人材の受入れを希望する事業者に対し、相談対応からマッチング、雇用契約、入国までの一貫した支援に取り組んでおり、人材の確保・定着に引き続き取り組む。



しもおきあつし 下沖篤史 議員
宮崎県議会自由民主党
小林市・西諸県郡選出

観光振興について

問 県道1号の今後の交通開放拡大に向けて、どのように考えているのか伺いたい。

答 県土整備部長 県道1号小林えびの高原牧園線の通行止めによる観光面や地域経済への影響は十分認識している。しかし、道路利用者の安全確保が最優先であり、交通開放の拡大については、引き続き、硫黄山の火山活動の状況を注視するとともに、専門家の意見も踏まえながら慎重に検討してまいりたい。



くどうたかひさ 工藤隆久 議員
公明党宮崎県議団
延岡市選出

大工就業者数の現状と、育成の取組について

問 大工就業者の減少、高齢化が問題であると考えますが、大工就業者数の現状と、その育成の取組について伺いたい。

答 商工観光労働部長 大工就業者数は令和2年の国勢調査で3,960人と、5年前から約18%減少している。大工を含めた木造建築の担い手について、産業技術専門校の木造建築科で養成しており、昨年度の修了生18名のうち14名が県内に就職している。



ながやましろしゅう 永山敏郎 議員
県民連合立憲
都城市選出

高次脳機能障がい者支援について

問 高次脳機能障がい者に対する支援の現状及び今後の対応について伺いたい。

答 福祉保健部長 これまで、相談対応や研修会、出前講座等による普及啓発、社会生活に対応するための集団訓練を行う通所教室の運営等に取り組んできた。今後も、支援者養成研修等を通じて、地域支援ネットワークの充実や支援者のスキルアップを図り、各種媒体を活用した効果的な普及啓発を進めていく。



やまうちいっとうく 議員
宮崎県議会自由民主党
都城市選出

デジタル書籍の絵本導入と読み聞かせへの活用について

問 電子書籍の中に、読み聞かせで活用できる絵本や、宮崎の歴史や偉人の紙芝居を導入する考えがあるか。

答 教育長 子どもたちが本への関心を高め、ふるさとへの愛着や誇りを持つ上で大変有効だと考える。絵本や郷土資料を含めた県民ニーズを把握し、電子書籍の良さを最大限生かせるよう研究を深め、県民に親しまれる、宮崎ならではの電子書籍サービスを目指していく。

常任委員会

常任委員会は、県の部局を5つに区分して、付託された議案や請願などの審査や、所管する行政施策についての調査等を行います。ここでは、6月定例会及び県内調査(5月実施)での各委員会の活動を紹介します。

総務政策常任委員会

私立学校の生徒寮の食事支援について

事業の目的である物価高騰に対する十分な手当てができていないかを判断するためにも、保護者負担がどれだけ抑制されたかといった効果について、しっかりと検証した上で事業を進めていただくよう要望しました。

県内調査

合同会社ミスマス(地域資源を活用した商品開発)などを訪問し、都城市に建設中の(仮称)新宮崎県陸上競技場では、宮崎国スポ・障スポ開催に向けた整備状況などについて調査しました。



(仮称)新宮崎県陸上競技場

厚生常任委員会

高次脳機能障がいに対する支援について

高次脳機能障がいは、脳の損傷後、後発的に発症することもあり、潜在的な対象者がいると推測され、今後、専門の人材の確保のほか、本人や家族に寄り添った相談体制の整備等を丁寧に行っていただくよう要望しました。

県内調査

宮崎歯科福祉センターや母子生活支援センターみどりホームなどを訪問し、日南病院では病院の経営改善に向けた取組などについて調査しました。



県立日南病院

商工建設常任委員会

半導体関連企業の誘致加速化について

本県の魅力ある立地環境について、半導体関連企業へPRするためにも、県から半導体関連企業へのアプローチを積極的に行うとともに、半導体関連の展示会への出展について積極的に行うよう要望しました。

県内調査

産業技術専門校(職業訓練校)や南郷くろしおドーム(補助金による人工芝敷設)などを訪問し、工藤興業株式会社では、外国人材受入れ・定着への取組について調査しました。



南郷くろしおドーム



さとう まひろ
佐藤 雅洋
議員

宮崎県議会自由民主党
西臼杵郡選出

自衛隊を日本国憲法に明記することについて

問 創設から70年の自衛隊を憲法に明記することについて、防衛協会会長でもある知事に見解を問う。

答 知事 自衛隊には、本県においても災害支援など多大な貢献をいただき、感謝の思いで防衛協会の会長を務めている。平和主義の根幹たる憲法9条の理念を踏まえつつ、国際情勢や我が国を取り巻く安全保障環境の変化を考慮しながら、国会や国民の間で幅広い視点からの十分な議論が尽くされるべきだと考えている。



あらかみ むつあき
荒神 稔
議員

宮崎県議会自由民主党
都城市選出

「日本一子育てやすい県」の実現と保育士確保の対策

問 「日本一子育てやすい県」の実現には、保育士確保が重要であり、県も新たな対策に取り組む必要があると考えるが、知事の考えは。

答 知事 「日本一子育てやすい県」の実現には、保育士を安定的に確保し、保育環境を充実させていくことが大変重要である。保育士の安定確保に向け、市町村との連携のもと、地域の実態をしっかりと踏まえ、保育士が希望を持って働ける環境づくりに取り組んでいく。



ふたみ やすゆき
二見 康之
議員

宮崎県議会自由民主党
都城市選出

公民館・行政と住民自治について

問 自治組織に対する県の現状認識と取組について伺いたい。

答 総務部長 自治組織は、地域コミュニティを維持するために不可欠であるが、加入率の低下や高齢化等の課題がある。県では、加入率の向上と活動の強化を図るため、県自治会連合会に対する地域リーダー養成の支援や、県公民館連合会に対する社会教育活動の支援を行っている。



やまぐち しげあき
山口 俊樹
議員

宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

県立高校入試における追検査の実施について

問 今後の県立高校入試における追検査の実施について、考えを伺いたい。

答 教育長 これまで、本県の県立高校入試では、検査当日やむを得ない事情で受検できない場合には、当該高等学校長が検査に代えて受検者の不利益にならないよう適切な対応を行ってきた。現在、県教育委員会としては、令和7年度の県立高校入試での追検査の実施について、検討を進めている。



さかもと やすひろ
坂本 康郎
議員

公明党宮崎県議団
宮崎市選出

「合計特殊出生率1.8」の目標について

問 直近のデータや有識者の提言をふまえ、目標や達成年次を見直す考えはないのか。

答 知事 令和5年の合計特殊出生率は過去2番目に低い1.49となり強い危機感を持っているが、「日本一子育てやすい県」を目指して目標値を変更することは考えていない。達成は厳しい状況にあるが、結婚し子どもを持ちたいと願う若者の希望をかなえるため、今後も全力で取り組んでいく。

特別委員会

特別委員会は、県政の重要課題のうち特定の事項に関し、専門的な調査・審査を行う委員会です。ここでは、定例会中及び閉会中における各特別委員会の最近の活動を紹介します。

地域活性化対策特別委員会

閉会中の5月には、子ども・若者プロジェクトなどについて福祉保健部から説明を受けました。

6月定例会では、地域活性化に関する教育施策などについて、教育委員会から説明を受けました。



防災減災・県土強靱化対策特別委員会

閉会中の5月には、南海トラフ巨大地震と被害想定などについて総務部から説明を受けました。

6月定例会では、災害に強い県土づくりの取組などについて、県土整備部から説明を受けました。



カーボンニュートラル推進対策特別委員会

閉会中の5月には、カーボンニュートラルの現状と取組について環境森林部から説明を受けました。

6月定例会では、農水産業におけるカーボンニュートラルや資源循環の取組について、農政水産部から説明を受けました。



九州各県議会議長会議

九州各県議会の正副議長から構成される九州各県議会議長会議が、5月14日に熊本県で開催され、本県からは濱砂議長及び野崎副議長が出席しました。会議では、国に対して地方公共交通維持のための財政支援拡充等を求める本県提出の議案など、計23件の議案が承認され、7月24日に東京都で開催された第178回全国都道府県議会議長会定例総会に、九州ブロックからの議案として提出されました。



環境農林水産常任委員会

硫黄山周辺地域水田農業緊急支援事業について

硫黄山による河川白濁・水質悪化により、一部地域で水稻の作付けができなくなったことについて、代替水源の確保や硫黄山水質改善施設の改善等抜本的対策のためにも、国の関与について働きかけるよう要望しました。

県内調査

株式会社川北製麺(米粉麺の生産)や一般財団法人宮崎県水産振興協会(栽培漁業の推進)などを訪問し、諸塚村の再造林の現場では植栽作業を体験しました。



諸塚村の再造林の現場

文教警察企業常任委員会

宮崎県立高等学校教育整備基本方針(中間見直し)について

少子化の影響や公立学校と私立学校間の競争が激化するなど、社会が変化してきており、学校の経営が優先されることが懸念されるため、子ども達に良い環境を与えることを最優先し、全県下の状況を把握することで、地域の特色ある学校にするよう要望しました。

県内調査

福島高等学校(県内唯一連携型中高一貫校)などを訪問し、串間警察署では、実務力向上に向けた串間警察署若駒会の取組について調査しました。



串間警察署

お金のかからない政治の実現にご理解を!



政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ったり、有権者が政治家に寄附を求めるとは、公職選挙法により、禁止されています。

例えば、

- 地域のスポーツ大会やお祭りへの寄附、飲食物の差し入れなど、各種行事に金品を贈ること
- 中元、歳暮、花輪、生花、祝儀などを贈ること

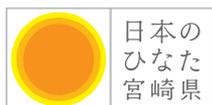
は禁止されています。

また、自筆による返信を除き、暑中見舞いなどのあいさつ状を出すことも、禁止されています。

さらに、宮崎県議会では、

- 上記行為を選挙区外でも行わないこと
- 選挙区内外を問わず、祝電・弔電を打たないこと
- 贈らない、求めない、受け取らないの「三ない運動」を順守すること

を申し合わせ、お金のかからない政治の実現を目指しています。県民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



▲県議会HP



▲YouTube



▲facebook



▲議会議中継

9月定例会は、9月6日(金)から10月9日(水)までの日程で開催される予定です。